

池田山の植栽を支援

だいいしん緑化文化振興財団 町に苗木100本寄贈



岡崎和夫町長に目録を手渡す西脇史雄理事長(左)＝池田町役場

だいいしん緑化文化振興財団(大垣市、西脇史雄理事長)は11日、池田山に植栽するためのコナラとヤマグリの苗木計100本などを池田町に寄贈した。

同財団は、だいいしんグリーン財団と大垣西濃信用金庫奨学会が合併し、4月に設立。両団体が取り組んできた地域の緑化推進、小中学生を対象にした芸術活動の助成事業などを引き継ぐ。今回、同町が2007年度から取り組む池田山の植栽活動を支援しようと、コナラとヤマグリの苗木各50本、支柱やシカよけの防護網など植栽資材一

「人と動物のすみ分けができる環境づくりに役立ててもらえたら」と話し、岡崎和夫町長に目録を手渡した。岡崎町長は「町の植栽活動に心をかけていただき、ありがとうございます。感謝状を贈った。寄贈された苗木は、28日に池田山内の自然公園「池田の森」に地元の中学生らの手で植えられる予定。」(山田雄大)